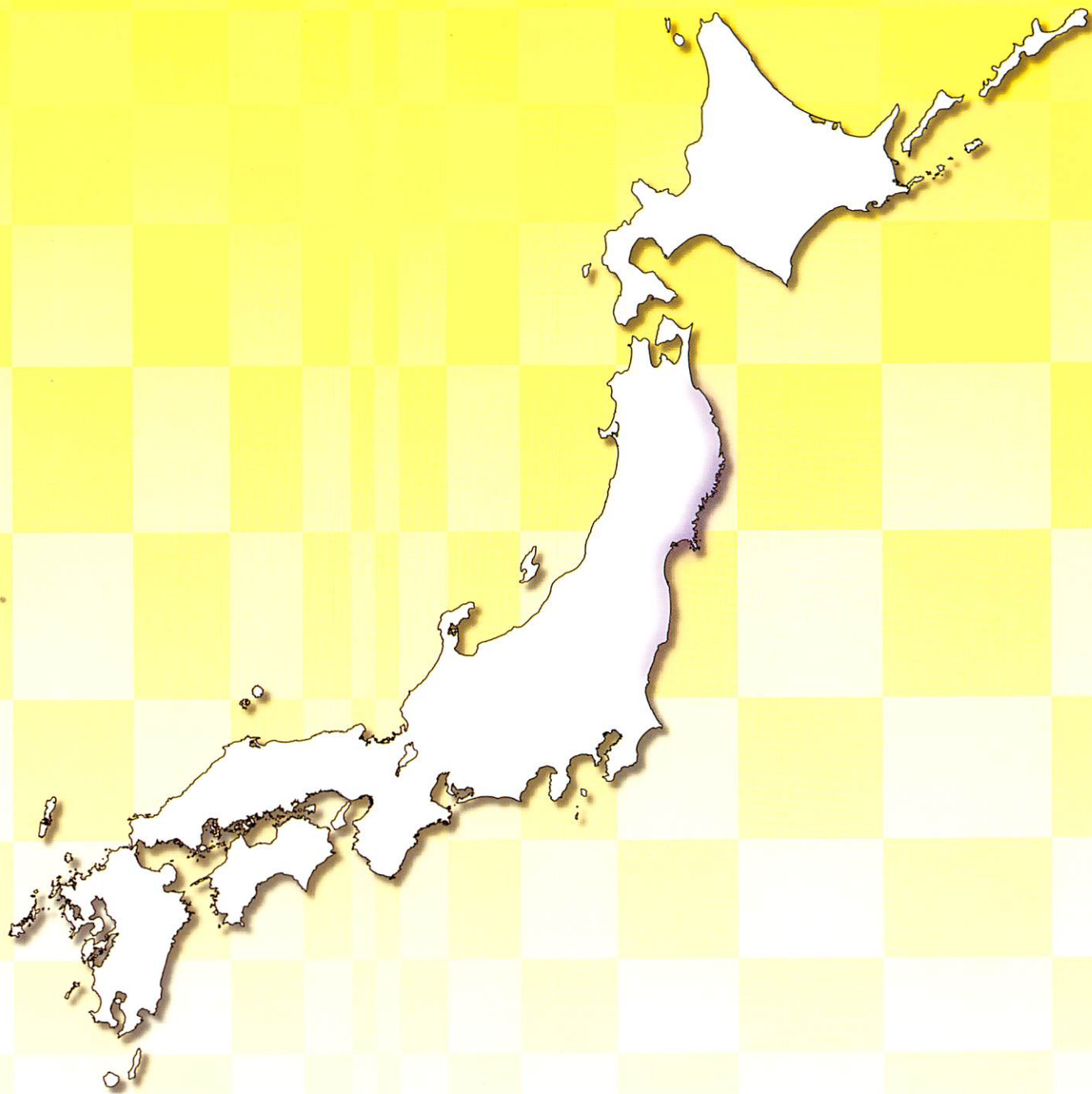


ITC JAPAN REGION



Volume 30 **II**
January 2012

目 次

Table of Contents

今期のテーマ	1	2011-2012 Theme
ITC 日本リージョン会長メッセージ(日・英)	2	The President's Message 2011-2012
役員からのメッセージ	3・4	Messages from Officers
委員長からのメッセージ	5	Messages from Committees Chairs
次期会長・議会法規役員からのお知らせ	6	Information from President-Elect and Parliamentarian
第30回日本リージョン年次大会案内	7	Invitation to the 30 th Japan Region Annual Conference
大会プログラム予定表	8	Program Plan
大会プログラム案内	9	Guide to Program
教育セッション一覧表	10	Educational Sessions
大会申し込み要項	11	Registration
大会観光・夕食案内	12	Information for Sightseeing
大会登録・宿泊申し込み書	13・14	Registration & Reservation Forms
大会準備委員会名簿	15	Annual Conference Committee
カウンスル会長との検討会から	16・17	Report from Council President Meeting
各カウンスルお勧めプログラム カウンスルNo.1~8	18~21	Invitation to our recommended programs
東日本大震災 その後②	22	Voice from TOHOKU
ホームページへのアクセス	23	How to access to ITC Home Page
訂正		Amendments
新木昌子様を偲ぶ	24	In Memory of Mrs.Masako Araki
編集後記		Message from Editor
ITC 宣誓& 声明文		ITC Pledge & Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョン第30期テーマ
2011—2012

Japan Region Theme

力を信じて
“Believe in Yourself”

ITC Theme 2011—2013

Be the Change

あなた自らが変化の主体に

短期目標

- 1 クラブ増設と増員
- 2 日本リージョンウェブサイトの刷新
- 3 日本リージョン30周年沿革史発行

長期目標

リージョン・カウンスル・クラブの再編成

第30期日本リージョン会長メッセージ



新しい年が明け、瞬く間に、日本リージョン30期の活動もほぼ半ばになりました。このような時間の経過の速さを考える時、「超訳 ニーチェの言葉」の中にある以下の言葉を思い出します。

いつかは終わるのだから、
全力で向かっていこう。
時間は限られているのだから、
チャンスはいつも今だ。

私たちは言葉の力を信じて学んでいます。そして、色々な意見は組織の発展に寄与するものです。昨年12月8日に、これからの日本リージョンについて考える検討会を致しました。8カウンスル会長とリージョン役員10名、リージョンPREM委員が参集しての意見交換でした。そこで、検討会で出た色々な意見を受け止めることが、この組織にとってもより良い方向へ導く一助となると感じました。多事争論を真摯に受け、リージョン役員は今期後半の活動を進めてまいります。

会員の皆様、諦めず、心を尽くしてご自分の想いを周囲に伝えてまいります。

私たち日本リージョンは素敵な人たちの集まりです。

“Believe in Yourself” 「力を信じて」

第30期日本リージョン会長 葛谷 美紀子 AC

Mikiko Kuzuya AC

The 30th Japan Region President

The new year having started, activities in the 30th term have almost been halfway through before we know it. Thinking of how quickly the passage of the time is, I recall the following words in “Super Interpretation of Words by Nietzsche”

As an end will come sooner or later, let us dedicate all our strength.

The time being limited, chances always lie in the present.

We are learning, believing in the power of words. Various kinds of opinions will contribute to the growth of the organization. On December 8th last year, a meeting was held to consider about how the Japan Region should be in the future. 8 Council presidents, 10 Region board members and the Region PREM members got together and exchanged opinions. I thought that listening closely to the opinions exchanged at the meeting would be of some help in leading the organization to a better direction. Taking “a lot of opinions about a lot of issues” sincerely, the Region Board will operate in the latter half of this term.

Members, please do not hesitate to express your opinions to those around you.

We, the Japan Region, are a group of wonderful people.

“Believe in Yourself”

役員からのメッセージ

「出前講座」へのご案内

第一副会長 西阪 宣枝

プログラム・教育委員会は、リージョン会則に「リージョン内各レベルのプログラムと教育の向上を援助する」と謳われている大切な任務を遂行するために、昨年引き続き委員会で人選した「教育」担当のリーダーをクラブに派遣する「出前講座」実施のご案内をいたしました。

多数のクラブからお申込みがありました。が締め切り後、委員会で検討の結果下記のクラブに「教育」担当リーダーを派遣する事に決定いたしました。

盛岡クラブ (No.8)

リーダー : 岩佐 圭子 (東京)
例会日 : 1月例会 2012年1月12日(木) 18:30~20:30
テーマ : 「スピーチの構成」60分のワークショップ

飛騨高山クラブ (No.1)

リーダー : 上原紀美子 (平安)
例会日 : 3月例会 2012年3月12日(月) 14:25~15:25
テーマ : 「古典から学ぶユーモア」60分のワークショップ

眉山クラブ (No.5)

リーダー : 六車紀代子 (岡山)
例会日 : 3月例会 2012年3月29日(木) 13:30~15:30
テーマ : 「コミュニケーション力のアップ」40分

千里クラブ (No.5)

リーダー : 沖田 道子 (ひろしま)
例会日 : 5月例会 2012年5月18日(金) 14:00~16:00
テーマ : 「議事法について」40分

激動する社会情勢の中、会員が求めるものや価値観は益々多様化していますが、この「出前講座」がお一人でも多くの会員と一般ゲストのご参加のもと、質の良い学びと温かく楽しい交流の場となります事を願い、ご案内致します。

なお、詳細につきましては直接クラブにお問い合わせ頂きますようお願い致します。

「継続会員維持」のための報告書より

第二副会長 稲葉 由利子

ITCの基本であるクラブの現状を知るには一番良い手段と思い、81クラブより直接リージョンに報告書を提出していただきました。会員数の多い少ないに関係なく、ほとんどのクラブは問題点を抱えながらも、互いに協力し合い、充実したクラブ運営がなされているようです。欠席会員へのフォローも行き届き、会員もクラブ活動を楽しんでいる様子が伺えました。ただ、現状に安住するか、変化を求めるか。危機感を持っているか。クラブによって会員の意識の違いがあるように感じました。

下記は皆様からの率直で貴重な意見です。

《 問 題 点 》

- 会員の高齢化、健康問題、家族の介護。
- 経済的負担が大きい（上のレベルの役職を引き受けられない）。
- ITCの理念が社会の求めるものと異なってきている。
- ITCの魅力、特徴を伝える難しさ。
- 社会性が乏しく、自己満足に終わる。
- 毎年の役員交代では、方針が継続しない。
- なすべき事柄（例会準備、報告書作成、他クラブ訪問等）が多く、時間が取られ過ぎる。
- 英語クラブは会員増が難しい。
- 無料で手に入る資料があり、学校、職場でもITCに似た教育が行われている。

《 リージョンへの要望 》

- リージョンとカウンスルの競合する部分が多く、それぞれの役割を明確にすべきである。
- ITCがPower Talkに特化する雰囲気にも不満であり、日本リージョンがもっと独自の運営を考えてほしい。
- 他国のクラブ状況が見えない。調査して報告してほしい。
- ITCという組織の目的（目指すべき道）を見直し、明確にすべきである。
- 若者に受け入れられない理由を探り、ITCの理念と照らし合わせてこれからのITC方向性を見つける。
- 少人数クラブのサポート体制作り、統廃合。

アンケート結果をまとめ、リージョン役員会に提出いたしました。又、PREM委員はこれらの情報を共有し、「リージョン役員とカウンスル会長との検討会」に参加しました。

委員長からのメッセージ



資格認証

スピーチコンテスト

資格認証委員会

委員長 十河 尚子

資格認証コース取得のための資料についてお知らせいたします。

多くの方がAPノート（資格認証課程）にそって順次課題を進めておられることと思います。APノートを使用されている方はそのまま進めてください。

ただし、新たに資格認証コースの取得を始められる方は、マスターマニュアル第3章―課題の基本に記載されています各レベルの課題表をコピーして使用してください。課題表のページに続いて、それぞれの課題についての内容説明があります。また、課題によっては評価用紙がありますので、資格認証委員会はこれを参考にしてサインをしてください。評価者は委員(長)または会員になってください。ただし、評価用紙は取得申請の時に提出する必要はありません。

APノートを使用されている方も、課題によってはこの評価用紙を参考にしてください。また、APノートを使用されている方も、次のレベルに挑戦される時にマスターマニュアルの課題表に移行されることをお勧めいたします。

なお、マスターマニュアル日本語版は、ITC日本リージョンウェブサイト→会員ログイン→リンク集→国際→Master Manualで検索すると43～51にあります。

スピーチコンテスト委員会

委員長 西村 みつ子

すでにコンテストが終了したクラブもありますが、ほとんどのクラブでは2月にコンテストが開催されます。コンテストも委員の皆様も、準備にお忙しいことと思います。カウンスルのコンテストを勝ち抜いた方たちがどんなスピーチを聞かせてくださるのか、リージョンのコンテストのことを思うとわくわくしてきます。

最近スピーチコンテストを行わないクラブも出てきました。少人数クラブでは、確かに負担が大きいと思いますが、クラブでコンテストを行わなくてもぜひ代表者を送って下さい。リージョン大会でのスピーチコンテストは『大会の華』です。毎年レベルの高いスピーチに感動し、改めてITCを誇りに思う瞬間です。裾野が広いほど頂は高くなります。日ごろ鍛えたコミュニケーションの力に人生と心を乗せて、まずはカウンスルへ代表を送ってください。

今年度はルールに変更がありました。メモ用紙に関してはさほどの影響はありませんが、「・・・いかなる計時器具も使用しないこと。・・・」の項目が削除されたことは大きな変更です。タイマーは今までどおりの仕事をします。時計を見てもよいことになりましたが、時計に振り回されることの無いようにお願いします。スピーチの大切な最後の部分で何度もちらちら時計を見ることをせず、印象深く締めくくっていただきたいと思います。

大会でのコンテストについて会員の皆様にお願ひがあります。例年、日本語の部に比べて英語の部の聴衆が少ないことはとても残念です。英語の部は国際への代表を選ぶ場でもありますから、どうぞ大勢の会員が参加して盛り上げていただきますように切にお願ひ致します。

次期会長・議会法規役員からのお知らせ

CMT, TPPのお知らせ

次期会長 小菅 あけみSC

1. CMT (Council Management Training) カウンシル運営研修会

2012年6月24日(日) 受付12:00~12:30 開会12:30(昼食をはさみ)~14:30
次年度のカウンシル役員・常任委員長を対象にした研修です。

2. TPP (Training Power Pack) トレーニング パワー パック

2012年6月24日(日) ワークショップ14:45~16:15 引き続き懇談会~17:00
Christine Endo ITC 公式訪問者(ディビジョン I 副会長)による、全会員向けのワークショップです。使用言語は英語ですが、和訳資料を準備し通訳がつきますので、CMT 参加の役員、委員長はもちろん、会員の皆様の参加をお待ちしています。
また、TPP のあと、Chris と前国際会長 Margaret Sutherland を囲んでのひとときを17時まで持ちます。国際レベルのワークショップを受けるチャンスをお見逃しなく!

大会派遣員の皆様へ

議会法規役員 森 尉江SC

日本リージョン年次大会への派遣員がクラブで選出されますが、各派遣員の皆様には、大会開会式に先立って6月25日午前9時より行われる派遣員説明会に出席して頂きます。ここでは有意義で建設的な大会にするために、その手順の説明を行います。

派遣員は、受付で所定の確認を受けた後、入室していただきますようお願いいたします。派遣員の任務には、審議における討議と表決の参加、次期役員及び指名委員の選挙などがあります。予告されている修正案は、クラブで十分に討議し、自クラブの意見を大会会場で伝えられるように準備しておくことは勿論ですが、審議の過程で出された修正案や討議にもその都度柔軟に対応し判断出来るように、会則や議事法の下調べもしておいてください。

当日は、積極的な発言や活発な意見の交換を行い、出席者全員が納得のいく議事運営が進められますように願っております。

第30回日本リージョン年次大会ご案内

大会テーマ「手をつなごう」

“Hand in Hand”

開催日：2012年6月24日(日)・25日(月)・26日(火)

場 所：名古屋東急ホテル

大会コーディネーター 新城 久美子
コ・コーディネーター 寺本 容子



第30回日本リージョン年次大会は名古屋で開催されます。
今回は30回記念の大会ですので晩餐会では記念式典を計画しています。
ホストカウンスルである No.1 の会員で大会準備委員会を組織し、皆様をお迎えするために一丸となっ
て準備に取り組んでいます。

大会テーマは「手をつなごう」“Hand in Hand”といたしました。
社会や家庭で人と人とのつながりが希薄になってきている今、東日本大震災は人のつながりがいかに大
きな力になるかを教えてくれました。

私たちも「力を信じて」“Believe in Yourself”しっかりと手をつなぎ合うことにより、30回年次
大会へ向けて大きな力を発揮できるのではないかと考えています。

皆様の心に残る大会になりますよう力を尽くして準備をしまります。

皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

ITC Japan Region 30th Annual Conference is going to be held in Nagoya.
This conference is going to be the 30th anniversary and we are planning to hold an anniversary ceremony
at the banquet.
The Conference committee has been formed by the members of the hosting Council No.1. We are making
our concerted effort to welcome all the members.
Conference theme is “Hand in Hand”.
Our interpersonal relation in our community and family is becoming poorer nowadays. The Great East
Japan Earthquake has taught us enormous power given by human bond.
We hope we will be able to bring out our concerted power to realize the 30th Annual Conference by
believing in ourselves and firmly tie our hand and hand. We will make every effort to prepare for unfor-
gettable conference for all the members.
We are earnestly looking forward to welcoming many members.

第30回日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 30th Annual Conference Program Plan

名古屋東急ホテル
Nagoya Tokyu Hotel

大会1日目 6月24日(日) June 24th(Sun.)

12:00~12:30	登録受付 CMT受付	Registration for CMT
12:30~14:30	CMT (昼食を含む)	Council Management Training (Lunch Included)
14:45~16:15	ワークショップTPP(英語:通訳付き)	Workshop Training Power Pack (English: Interpretation)

大会2日目 6月25日(月) June 25th(Mon.)

8:30~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
8:30~ 9:45	登録受付	Registration
9:00~ 9:45	派遣員説明会	Briefing for Delegates
10:00~10:50	入場、開会式	Opening Ceremony
10:55~12:10	議事会議・選挙	Business & Election
12:10~13:00	昼 食	Lunch
12:30~13:00	登録受付	Registration
13:10~15:20	スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)
15:20~	選挙結果発表	Election Report
15:30~16:40	教育セッション	Training Sessions
17:40~18:00	晩餐会受付	Banquet Registration
18:00	晩餐会開会	Opening
18:20~19:50	晩 餐	Banquet
19:50~20:20	30周年記念式典	The30 th Anniversary
20:20~21:00	エンターテインメント	Entertainment
21:00	閉 会	Adjournment

大会3日目 6月26日(火) June 26th(Tues.)

8:30~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
8:30~ 9:00	登録受付	Registration
9:00~10:00	議事会議	Business Session
10:00~10:20	休 憩	Break
10:20~11:50	講 演	Lecture
12:00~12:50	昼 食	Lunch
13:00~15:20	スピーチコンテスト (日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30~16:00	役員就任式	Installation
16:00~17:00	閉会式 表彰・報告・案内	Adjournment Awards • Reports
17:30~19:00	評価 リージョン運営研修会	Evaluation Region Management Training

第30回日本リージョン年次大会プログラムのご案内

第一副会長 西阪 宣枝

日本リージョン年次大会は、3日間にわたって教育が行われます。

1日目は、カウンスル新役員・委員長へのトレーニング（Council Management Training）と国際レベルがリージョン大会で行う研修会（Training Power Pack）です。

2日目は、会員の為に何が役立つのか、そして楽しくて質の良い学びとは何なのかを検討し、それぞれ違った分野から、6部門の教育セッションを企画いたしました。

3日目は、世界を舞台にご活躍中の建築家であり、東日本大震災の遺児育英の支援「桃・柿育英会」を創設し、早くから子供達の為に尽力されておられる安藤忠雄先生（東京大学名誉教授）をお迎えしての講演です。

30期テーマ「力を信じて」に沿って、今期プログラムが皆様の心に刺激とパワーをもたらし、質の良い学びと新たな楽しい交流の場となる事を願って委員会一同準備を進めております。

講演 2012年6月26日(火) 10:20～11:50



建築家 あん どう ただ お
安 藤 忠 雄 氏

演題 「女性のパワー」

世界的に活躍する建築家として建築界のノーベル賞と称される「プリツカー賞」その他多くの賞を受賞され、国内外の著名な大学の教壇にたたれ、環境保全など社会問題にも取り組まれている安藤忠雄先生のスタンスは「生徒たちに教えるというより、建築と環境について一緒に考えるというものです。」と。

東日本震災後は親を亡くした子供達の教育資金を募る「桃・柿育英会」を創設され、日本という大家族の一員として全力で東北を支え、復興への鍵は私達一人ひとりの心の中にある。社会や自分の生き方にも関心を持ち、責任ある個人をつくらなければこれからの社会に生きていけないと力説されています。

皆様、今や世界のリーダーとなられた安藤忠雄先生の力強いご講演をご期待ください。

<プロフィール>

独学で建築を学び、1969年、安藤忠雄建築研究所設立。2010年に文化勲章。

東京大学名誉教授。政府の東日本大震災復興構想会議議長代理。

教育セッション一覧表

6月25日(月) 15:30~16:40

講師紹介：①プロフィール ②内容

A	<p>～文化を守る～ 「今に伝える尾張徳川家の文化」</p>	<p>1. 尾張徳川家 第22代当主。公益財団法人徳川黎明会会長、徳川美術館館長、八雲産業株式会社代表取締役社長。</p> <p>2. 明治末から大正、昭和初期にかけて大名家の道具類が殆ど売りつくされた中で、第19代徳川義親氏は、大名文化を後世に伝えたいという強い思いを抱き、美術館に保存する道を選んだ。徳川家康公から拝領した遺品の数々を詳細な記録資料とともに守り、昭和10年11月に徳川美術館を会館して以来、優れた美術工芸品が公開展示されている。</p> <p>その中には、国宝の「初音の調度」、千利休作の「泪の茶杓」、「源氏物語絵巻」などがあり、名古屋市民のみならず国内外からの来館者に深い感銘を与えている。</p>
	<p>徳川 義崇 氏</p>	
B	<p>「からくり人形の世界」</p>	<p>1. 木偶師〈でくし〉。1990年八代目玉屋庄兵衛〈初代萬屋仁兵衛〉に弟子入り、2000年二代目萬屋仁兵衛を襲名。幼少より名古屋出来町天守祭において「からくり人形」に親しみ、27歳より人形制作のため木偶師の道を歩み始める。現在は春日井の工房にて、各地域の有形民族文化財に指定された山車の上でからくり奉納を行う人形の修理、復元の他、個人の人形制作も行っている。</p> <p>2. 150年以上前の「からくり人形」が各時代の人々、木偶師の匠といえる職人技と愛情で大切に守られ、今も私達を楽しませてくれています。江戸時代の科学、動の文化、日本人の機知と美意識、そして「からくり人形」の息吹と木偶師萬屋仁兵衛氏の心意気をお楽しみください。「からくり人形」実演有。</p>
	<p>萬屋 仁兵衛 氏</p>	
C	<p>「琴線に触れる評価を目指して」</p>	<p>1. 甲南大学卒業。関西学院大学(社会学)修士課程修了。日本航空国際線客室乗務員を経て、行政・企業の研修および大学・専門学校等の講師として活動。主に、コミュニケーションスキルやヒューマンスキル向上の研修を行う。研修企画を目的とするOffice I.C.Sを主催。</p> <p>2. 評価とは、善悪・美醜・優劣などの価値を判じ定めること。しかし、よし悪し、あるいは優劣を判断するのは簡単なことではありません。特に、スピーチの評価の場合、細かい評価基準に気を取られて、スピーチ全体のインパクトを掴めないまま、優劣を判じてしまうことがあります。これでは『木を見て森を見ず』です。要点を抑えながら、全体像も捉える聞き方をしなければ、的を射たコメントはできません。参加される方には、まず、スピーチの「評価」を行っていただき、それを基にして「評価の仕方」を学んでいきます。</p>
	<p>山中 千佳子 氏</p>	
D	<p>「洋食器の歴史とその時代背景」 “Enjoy! My Cup, My Plate.”</p>	<p>1. 多摩美術大学絵画科卒業、ノリタケにデザイナーとして入社。30年間食器のデザインと商品設計に関わる。商品企画部長を経て、2001年より「ノリタケの森」文化部長として食文化関連の情報発信を務めた。</p> <p>2. 陶磁器で作られた洋食器。その多くは美しい装飾が施され、盛り付けられた料理の味をよりいっそう美味しいものにしてくれます。洋食器はデザインが統一されたものが使われますが、用途に合わせたたくさんのアイテムとその形状、サイズ性など、当初から今のよう存在していたわけではありません。本講座では洋食器のルーツと西洋陶磁器の発展・伝播、その文化的時代背景などについて受講します。その後、色転写紙を使って絵付け体験に挑戦。色紙状の転写紙から、自由な形に切り出した模様を、ボンチャイナ製のマグカップ・プレートに貼り付けて仕上げます。世界にひとつ、オリジナル作品を作りましょう。焼成後ご自宅へ送付。参加費用は送料込2,800円。</p>
	<p>安藤 忠治 氏</p>	
E	<p>“Eat That Frog”</p>	<p>1. SC ITC歴23年 終身会員 イースト神戸クラブ会員 国際Mentoring委員長 2011-2013、日本リージョンCLO 2011-2012 趣味:ドライフラワーアレンジメント、洋裁、英語、海外旅行、運転。 来日外国語教師のリロケーションアドバイザー。</p> <p>2. 2011インディアナポリス世界大会で行われたワークショップの一つ「Eat That Frog」を英語で行います。 あなたに相応しい習慣選びと習得はタイムマネージメントのスキルを上達させ、思いがけない才能を伸ばすチャンスに出会うかもしれません。</p>
	<p>杉谷 和代 氏</p>	
F	<p>パネルフォーラム 「力を信じて」</p>	<p>会員による会員のためのパネルフォーラムです！</p> <p>ITCで培った技術や能力を活かし、自身の「力を信じて」さまざまな形で社会と関わり、貢献していらっしゃる素敵な日本リージョンの会員3名と Margaret Sutherland 前 ITC 会長にもパネラーとして参加いただき、フォーラムを行います。</p> <p>ITCでの学びの何がどのように役立ったのか、更に学びたいことは・・・など今回のフォーラムのために会員にご協力いただいたアンケート結果の報告も交えて、皆が大いに発言しフォーラムを楽しみながら、今後私達が ITC で得た能力を社会で活かす方法をご一緒に探りましょう！</p>
	<p>前 ITC 会長 Margaret Sutherland 日本リージョン会員 3名</p>	

第30回日本リージョ ン年次大会申込要領

◆年次大会申込は、本誌綴じ込みの「申込書」に記入し、クラブ登録担当者に提出してください。

<申込書>

- A. リージョン大会申込書（会員用）
- B. リージョン大会申込書（ゲスト用）
- C. ホテル宿泊申込書

<大会申込書について>

1. 役職名は次の役職のみ記入してください。
リージョン役員・リージョン常任委員長・リージョン特別委員長・リージョン元会長
各レベル会長・クラブのリージョン派遣員および派遣員代理
2. 24日のみ、および、晩餐会のみのお出席者も、ゲストを除き登録費が必要です。
3. 欠席者（賜暇会員を含む）は、欠席協力金をお願いします。
4. 重複会員は ITC 会費を納めているクラブで申込・登録をしてください。
5. 教育セッションは第一希望、第二希望を必ずご記入ください。会場等の都合でご希望に添えない場合もありますのでご理解ください。
6. 代金（宿泊費は除く）は申込書と一緒に、クラブ登録担当者へお支払いください。
7. 取消や追加等の変更は速やかに、クラブ登録担当者まで申し出てください。
但し2012年5月15日（火）以降の取消については、返金はできません。

<宿泊申込書について>

宿泊先：名古屋東急ホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8
TEL 052(251)2411 FAX 052(251)2422
<HP> <http://www.nagoya-h.tokyuhotels.co.jp>

◎部屋料金

部屋タイプ	シングル	ツイン	ツイン
部屋記号	S1	T1（シングル使用）	T2
料金（1名分）	12,000円	16,000円	10,000円

◎取消料

期 日	取消料	期 日	取消料
不 泊	100%	宿泊の前日から起算して09日前にあたる日	20%
宿泊日当日にあたる日	100%	宿泊の前日から起算して20日前にあたる日	10%
宿泊の前日にあたる日	80%	宿泊の前日から起算して60日前にあたる日	

1. 料金は、朝食・税・サービス料込みです。
2. 部屋タイプの記入は、部屋記号（アルファベット+数字）をお願いします。
3. 申込締切後、5月15日（火）までの変更はクラブ登録担当者へお願いします。それ以降の変更は、各自ホテルへ直接連絡してください。
4. 宿泊費のお支払いは、チェックアウト時に各自でお願いします。
5. チェックイン 15:00 チェックアウト 11:00 です。フロントカウンターでお願いします。

<クラブ登録担当者>は下記期日までに手続きをお願いします。詳細は別途メールのとおりです。

- ◆ 申込締切：2012年4月20日（金）厳守
- ◆ 追加・変更の締切：2012年5月15日（火）「変更無し」の連絡も必要です。
- ◆ 登録申込送金期間：2012年5月16日（水）～21日（月）厳守

大会観光・夕食案内

なごやか観光 和やか夕食のご案内

観光委員会では、世界的にも有名な国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、尾張徳川家ゆかりの品々を多数展示する徳川美術館をご案内します。学芸員の方の興味深いお話も交え、隣接する蓬左文庫や徳川園の散策もお楽しみ下さい。人数の制限はございません。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

また、ご夕食は名古屋の味を堪能していただける様、ふたつのプランをご用意いたしました。お食事につきましては、お席に限りがございます。ご了承下さいませ。

なごやか観光プラン

日 時：6月24日(日)

場 所：「徳川美術館」名古屋市東区徳川町1017

Tel. 052-935-6262 14:00 現地集合

(ご案内が必要な方は東急ホテルを 13:30出発・・・タクシー利用)

学芸員のお話後、各自見学(徳川園・蓬左文庫等)

参加費：1,200円 交通費別



和やか夕食プラン

A 日 時：6月24日(日) 17:30 受付開始：各自集合

18:00 食事開始

場 所：「香楽」名古屋市東区主税町3-34 Tel. 052-931-3472

参加費：12,000円 懐石料理(飲み物代・交通費別)

60名限定(椅子席をご用意いたしました。)

名古屋城や徳川美術館からもほど近い「文化の道」と呼ばれる閑静なエリアにひときわ目立つ武家屋敷 料亭「香楽」は江戸時代の佇まいをそのままに皆様をお迎えします。



B 日 時：6月24日(日) 17:30 受付開始：各自集合

18:00 食事開始

場 所：「しら河」名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル地下1階 Tel. 052-249-2772

参加費：3,000円 ひつまぶし+手羽先+肝吸いなど(飲み物代・交通費別)

22名限定

全国に誇れる郷土の味、名古屋めしの中から味の変化が楽しめる「ひつまぶし」と名古屋コーチンの手羽先をご堪能頂けます。



●申し込みについて

各自直接4月1日から戸松までメール・FAXにてお申し込み下さい。

【連絡先】観光委員長 戸松導世 TEL&FAX：0586-44-4064

E-mail：suitopyim@coast.ocn.ne.jp

締め切り 定員になり次第しめきりさせていただきます。

●キャンセル・変更について

6月21日(木)まで承ります。それ以降は夕食プランのみキャンセル料金として全額頂きます。

●支払いについて

6月24日(日)各自現地にてお支払い下さい。

大会期間中は観光デスクを設け、名古屋の見所、耳寄りグルメ情報、各種パンフレットをご用意して、観光委員一同皆様のお越しを心よりお待ちしております。

A. リージョン大会 申込書 (会員用)

カウンスルNo. クラブ	会員名		役職名	
	月 日	○印	単価 (円)	申込金額 (円)
出席日及び登録費	6月24日 (日)		8,000	
	T P P			
	6月25日 (月)			
	6月26日 (火)			
昼 食 費	6月25日 (月)		3,000	
	6月26日 (火)		3,000	
晩 餐 会 費	6月25日 (月)		10,000	
欠 席 協 力 金			1,500	
申 込 合 計 金 額 (円)				
教育セッション	6月25日 (月)		第1希望 ()	第2希望 ()

キリトリ

B. リージョン大会 申込書 (ゲスト用)

カウンスルNo. クラブ	紹介者		^(ふりがな) ゲスト名	
	月 日	○印	単価 (円)	申込金額 (円)
出席日及び登録費	6月24日 (日)		2,500	
	6月25日 (月)			
	6月26日 (火)			
昼 食 費	6月25日 (月)		3,000	
	6月26日 (火)		3,000	
晩 餐 会 費	6月25日 (月)		10,000	
申 込 合 計 金 額 (円)				
教育セッション	6月25日 (月)		第1希望 ()	第2希望 ()

キリトリ

C. ホテル宿泊申込書

カウンスルNo. クラブ	会員名		役職名	
宿泊希望日	部屋タイプ	同室者名 (クラブ名)	同室者名 (クラブ名)	
6月23日(土)		()	()	
6月24日(日)		()	()	
6月25日(月)		()	()	
6月26日(火)		()	()	
		()	()	

- * 部屋タイプは「大会申込要領」記載の記号を記入して下さい。
- * ゲストは(クラブ名)の欄に(ゲスト)と記入して下さい。
- * 上記以外の日に宿泊を希望される方は、空欄に宿泊希望日を記入して下さい。

第30回 日本リージョン年次大会
A. リージョン大会 申込書 (会員用)

----- キリトリ -----

第30回 日本リージョン年次大会
B. リージョン大会 申込書 (ゲスト用)

----- キリトリ -----

第30回 日本リージョン年次大会
C. ホ テ ル 宿 泊 申 込 書

日本リージョン第30回年次大会準備委員会名簿

2012年6月24日(日)・25日(月)・26日(火)

大会コーディネーター 新城久美子(名城)

コ・コーディネーター 寺本 容子(ぎふ)

委員会	委員長(クラブ)	委員(クラブ)		
大会会計	村井さおり(錦)	宇都木良美(錦)		
登録	牧野典子(刈谷)	野村眞智子(刈谷)		
食事	田嶋邦子(東山)	中村千代子(錦)	足立徳子(東山)	上田みち子(東山)
		大原慶子(岡崎)	谷澤昌代(岡崎)	
宿泊	服部美美子(東山)	上野貴久子(東山)		
会場・備品	荻谷享子(岡崎)	古澤美代子(葵)	石川恵悟(名城)	加藤裕子(名城)
		鈴木ひさ子(岡崎)	渡邊春代(岡崎)	渡曾恵子(岡崎)
デコレーション	浅野理恵子(名城)	林愛子(名城)	増原久美子(名城)	大坪千陽(名城)
		横井啓子(名城)		
キット (名札・リボン)	落合友紀子(栄)	岩間照子(栄)	加藤正恵(栄)	河津百合(栄)
		西脇博子(栄)	岡田道子(栄)	坂本富美子(栄)
		横地田鶴子(栄)		
儀典	田口邦子(錦)	盛田純子(名古屋)	酒井敦代(名古屋)	原誠子(錦)
		川崎瑤子(錦)	古屋弓子(錦)	浜田寛子(栄)
VIP接待	黒柳美紀子(千種)	石井弘子(錦)	武津冷子(千種)	清水京子(千種)
ホスピタリティー	向井節子(飛騨高山)	長瀬理々子(飛騨高山)	鈴木明見(飛騨高山)	小森映子(飛騨高山)
		桑谷弘子(飛騨高山)	加藤多寿子(飛騨高山)	松井多美子(飛騨高山)
インフォメーション	斎藤佳枝(浜松)	近藤由美子(東山)	村本かをり(東山)	太田雅子(浜松)
		染谷順子(浜松)	山内正子(ぎふ)	
ページ	柴田淑子(岡崎)	八木朝子(名古屋)	社本美穂子(錦)	浅田久美子(錦)
		高橋由梨(名城)	長尾由理子(名城)	松原裕子(東山)
		水口久美子(飛騨高山)	日比野広子(ぎふ)	天野祥子(岡崎)
		新実初子(岡崎)		
広報	佐伯圭子(葵)	湯浅知子(栄)	亀山美里(東山)	
観光	戸松導世(名城)	後藤陽子(名城)	中島美恵子(名城)	荒川昭子(東山)
		梶浦明美(東山)		
受付	石川好子(錦)	後藤絹代(錦)	堀内廸子(錦)	異相由美(錦)
		片桐寛子(錦)	小島美知子(錦)	森本保子(錦)
		杉山純恵(錦)	竹内汎子(錦)	山本弘子(錦)
		森下道代(飛騨高山)	阪下恵子(飛騨高山)	加藤佳久子(岡崎)
		牧桂子(岡崎)		
写真	青山久美子(名城)	讃井良子(岡崎)	小瀬幸子(飛騨高山)	
エンターテイメント	樋口慶子(名古屋)	伊佐治博子(名城)		

カウンスル会長との検討会から

昨年の12月8日(木) 京都タワーホテルにおいて25名出席での検討会を開催。

リージョンが今期長期目標として掲げた「私たちの組織をどのような形にしていくのが最善か」を探って出席者それぞれの立場に立って活発な意見交換が行われました。



<各カウンスル会長による現状の発表>

①

- * 少人数クラブの合併は困難。少人数クラブには一人ではなく一度に複数で入って欲しい。
- * スピーチコンテストの参加者が少なくなっている。
- * 遠隔地のクラブもあるが、頑張っている。

②

- * 少人数クラブでも危機感が無いのは、公共施設を会合に利用していて会場費用が安い、対応が良いなど、不満感がない。
- * 毎月1回充実したプログラムを検討しイベント開催、一般参加を募る努力をしている。
- * メンバーの高齢化もあるが、逆に皆の励みやお手本となっている。
- * 年会費・会合費は他カウンスルと比べて少し安いが一生涯懸命努力している。

③

- * 高齢化は必至で5年後は3分の1が80歳以上になる。
- * サービスサポートビューローを設けているが案外活用されていない。
- * 外部へのPREM活動を強化、入会可能な人をターゲットに外部発信に力を入れている。

④

- * 全員出席を目指して努力していたら会員が活性化を実感してきた。
- * 会員が多いクラブは入会しやすくまた休みにくい。
- * クラブの地域が広範囲で会合出席費用がかなりかかる。
- * カウンスル会合費は独立採算制で、担当者が毎回工夫して学ぶことが多い。

⑤

- * 少人数クラブは意見をまとめるのが意外と難しい。
- * 若い会員は、仕事を持っていたり、子供が小さかったりでカウンスル会合への出席が上手くいかない事が多い。役員依頼も躊躇され、プログラム依頼も時間をかけるものは難しくなっている。しかし、何とか積極的に活動してもらおう事を希望する。

⑥

- * 会員数、クラブ数共に少ないカウンスルである。正に緊迫感を感じていて、会合費の中から3回会合を行う事自体が困難である現状。会合は各ホストクラブの独立採算制で欠席協力金を各自負担してもらっている。
- * 8クラブが10人以下で解散の危機があるクラブもある。一番の問題点は経費である。

⑦

- * クラブ数は7クラブであるがまとまりが良い。それぞれのクラブに特徴がありバランスが良い。少人数クラブは多少の危機感があり、増員に努めている。
- * 高齢化はあまり問題視していない。しかし、若い人に入会をしてもらいたい。

⑧

- * この5年間で会員数が70名減少して現在120名。
- * 少人数クラブが多くしかも重複会員が含まれるので実際の数は本当に少ない現状。
- * 入会の動機は会員の紹介であったこと、地域の広報誌から、ITCの存在を知った会員も多いこと、等アンケート調査から判明した。
- * 盛岡クラブを中心に、増設を目指している。

今期のリージョン会長が提案した目標についてテーブルディスカッション

<クラブ増設と増員>

- * ITC に興味のある人を探し出す
- * 会合時間を見直す。働く人が増えてきた。
- * パンフレットを再度作成して効果をねらう。
- * ITC 会員としての名刺・パンフレットをいつでも差し出せるようにする。
- * 素敵な会員と思われる事、人間的に魅力ある人になる。
- * カウンسل・リージョンの客観的サポートも大きい意味を持つ。



<日本リージョンウェブサイトの刷新>

- * メールの有効利用を会員自身が良く知る事。
- * リージョンメールの活用・国際へのメールチェックを気楽に楽しむ

加藤玲子ウェブサイト検討委員長からの説明

ウェブサイトの刷新を計画中
変更に伴う混乱も生じるかもしれないが詳しく説明
現在サンプルホームページを作成中なので、近日中に見てもらい意見要望を募る

<クラブ・カウンシル・リージョンの再編成>

- * 日本リージョンの分割は可能か？
- * リージョン役員任期を2年にすると事務処理に継続性が出来る
- * カウンシルの合併は？
- * カウンシル会合の回数は？



<これからの日本リージョンへ希望する事>

- * ワークショップの見直しを。メンバーの多数活用を希望する。
- * CMT の自己紹介、配布資料の読み、質疑応答などやり方を工夫してほしい

<全体会>

- * ITC の特徴はスピーチコンテストということを再認識して外部に認知してもらう。
- * No.3 は私学連合会共催の高校生対象スピーチコンテストを開催予定で、メディアに取りあげてもらい、高校生の父兄をターゲットにしている。
- * ジーニスクラブの幅を広げる。
- * サイバークラブは現在世界で3クラブ（イギリス・アメリカ・ウェブ利用）。
自宅に参加出来るこのクラブの存在を詳しく調べ、開設が可能か検討してみる。
- * 各カウンシルに1名はFITCを配置したい。
研修を受け研鑽して日本リージョンから国際への発信としたい。

最後に葛谷リージョン会長が

「本日の意見から感じたこと、考えたことを先ずは一人一人が明日から実行していきましょう」と締めくくり、閉会となった。

編集者 記

各カウンスル お薦めプログラム



三重県川越町への『訪問例会』

東山クラブ 第一副会長 荒川 昭子



秋晴れの日、東山クラブはゲストと共に三重県川越町への「訪問例会」に出発しました。

元東山クラブ会員石川さん（現在川越町町議会議員・議長）の「ITCの例会は時間を大切に秩序正しく進行されるので皆で見学したいが、大勢で名古屋へは出掛けられない。」という言葉からハッと閃きました。「東山クラブ員が川越町を訪れて例会を開催したらどうか？」と。

クラブ役員会の賛同を得て初めての試みに踏み切り、先方と計画を煮詰めました。

11月17日、三重県北部の「三町アイリス交流会」（菰野町、朝日町、川越町）を訪れたのは、20名の東山クラブ会員とカウンスル No.1 会長を含む ITC ゲスト18名でした。アイリス参加者25名。最初に川越町町長の歓迎挨拶と石川さんが ITC 「訪問例会」に至った経過を報告された後、東山クラブ「訪問例会」が会長の開会宣言から始まり、順序正しく行われました。いつもと違う処は、会長がロールコール等の説明を随所に加えられた事です。

プログラムはワークショップ「評価の心得」をリーダー坂口正子さん（カウンスル No.5 大阪クラブ）にお願いしました。カウンスル No.1 に初めての坂口さんは、理解し易く興味深い例題を数々挙げて、

柔らかな語り口で指導して下さり、アイリス、ITC 両ゲストにも大変好評でした。タイム報告、総評もいつも通り行き、「訪問例会」はお互いにさわやかな気持ちで終える事が出来ました。

「訪問例会」に出席されたアイリスの感想を下記にまとめました。

- 初めはどんな団体なのかと不安だったが、企画から運営まで全てを自分達でされる事に驚くと共に感心した。時間を計る事や最後の評価等ショッピングだが新鮮で得る処が多い。
- 今迄の固定概念に囚われる事なく、視点を変えて物事を見るべきだと大変刺激を受けた。
- 相手を思いやる心の大切さを痛感し、自分自身の反省すべき数々に気付いた。
- 「訪問例会」という言葉も心温まるネーミングで嬉しかった。

今回の「訪問例会」の為にカウンスル No.1 PLEM 委員長は特別なリーフレットを作成して下さい、東山クラブの新しいパンフレットと共に配布し ITC への理解を深めて頂きました。

東山クラブ「訪問例会」が三重県の三町に ITC の存在を強く印象付けて、PLEM 活動の一端を大きく切り開いたと自負し、今後この交流が広がり発展してゆくように願っています。



Try to Story to Tell

カウンスル No.2 六甲クラブ 第一副会長 森谷 スミ子

2010年10月 神戸にて開催された International Training Weekend の Work Shop Every one Has a Story to Tell を受けました。リーダーは Ms.Wyn Bowler でした。Work Shop の目的は「メンバーに書くことを勧めよう!」、目標は「メンバーに、言葉やアイデアで楽しむ機会を与えよう!」でした。今迄、ストーリーテリングとは、本を読んで頭に入れて人々に話すことと私は思っていました。パワートークストーリーテリングでは自分自身で、作文をして、スピーチをするという形式でした。このワークショップを受けた時の私の印象は、とても新鮮で且つトライしたくなるものでした。その時に配布された資料を大事に温めて、いつかクラブで取り上げたいと思っていました。

幸い、今期のプログラムを担当することになり、早速前半期のプログラム11月例会にて行いました。資料は当然英語と日本語で書かれていたので、

日本語のみに縮小し、項目はそのまま3項目を使いました。クラブではパワーポイントを使って、資料の中の映像を入れて分かりやすくしました。最初は、日常生活を描写する場面を描いたアメリカの有名な4コマ漫画を見せて作文、スピーチ。次の場面はなりきってのスピーチ、これは、人称代名詞「私」を使って、一日一足の履き物になるのは、どんなものか、作文、スピーチ。そして最後は「私の物語」としてフィクション、ノンフィクションでも良い、自由な発想で作文して、スピーチといたしました。ワークショップで受けたように、1項目 作文に5分、スピーチに2~3分とし、1項目ずつ終了して次へ進むという形式をとりました。クラブメンバーは熱心に取り組み、スピーチでは止まることなく、活発に発表し、日頃鍛えられたスピーチの威力を大いに発揮し、活気溢れたプログラムになりました。

西宮クラブ例会と西宮市主催「いきいきフェスタ」のコラボレーション

私達西宮クラブは、この度初めて西宮市及び西宮市男女共同参画センター実行委員会主催の「いきいきフェスタ」に参加いたしました。実行委員として月1回の会議に出席していましたが、是非講座をと勧めていただき、急遽1講座を担当、企画書提出の運びとなりました。この講座は西宮クラブ例会のプログラムとして行い、「いきいきフェスタ」の講座とコラボレーションする形となりました。初めての試みです。

一般の方対象の講座には何が良いかと考えると、やはり今、この時は「コミュニケーション！」ではないかと考え、実感・体感ができる「講義と演習」を行いました。

講座タイトル

コミュニケーション力をアップ！

～『アサーション』の活用で人間関係を円滑に～

企画書提出、総合チラシ制作、個別チラシ制作、地元FMにおける広報、告知手順など、実行委員の方々と進めて参りました。FMにおいては、ITCについて話すチャンスを得ました。しかし、果たして人は集まるのだろうか、どのような方が来てくだ

カウンスル No.3 西宮クラブ 会長 松山 喜代子

さるのだろうか、全く未知の状況でした。申込はコンスタントにあり、男女、職業、年代さまさまの方が受講されました。参加者は、とても熱心に講座を受け、全員参加の実践にも真面目に取り組み、楽しそうに受講して下さいました。受講者の感想として「問題解決策がわかり、とてもよかった。」「元気なパワーを頂いた。」「会場の方の意見を多く聞く事ができ、とても興味深く楽しかった。」「今までこのような経験は無かったがよかった。」などでした。私は改めて「コミュニケーション力」の必要性を感じておられる方が多いのではないかと実感いたしました。

この度のことで感じた事は、国が全国で推進している県・市などの「男女共同参画センター」と関わりを持ち、日頃私達が学習している事を少しでも社会に還元できれば、とても嬉しい事だと思いました。

そして、ITC 会員だけでは限りのある広報活動。今回、市がいろいろな告知をして下さいました。小さな小さな草の根運動かもしれませんが、「力を信じて」少しずつ ITC のことを知っていただき、ご参加いただくと、今私達が目標としている事に、少しでも近づくのではないかと思います。

「歴史との対話」

カウンスル No.4 安芸クラブ 第一副会長 高木 彬子

安芸クラブは、チャーターメンバーと重複会員、それ以外は入会4年未満の会員で構成され、ITCの学ぶ組織にふさわしく、意欲旺盛に、お互いをおぎない合って、とても楽しく活動しているクラブです。

今期は、一方的に伝えるスピーチから、一歩前進し、聞き手との対話によるコミュニケーション力の向上をめざし、「対話力を高める」ことをプログラムの目標としました。

11月例会プログラムテーマは「歴史との対話」特徴としては外部講師の講演とせず、スピーカーが与えられたテーマをリサーチしてまとめ、発表し、それに対するフロアメンバーからの質問で対話がはずむよう、考えました。

タイトルは「平清盛について学ぶ」

- I. 平清盛と世界遺産
- I. 平清盛は何故、宮島を選んだのか
- I. 平清盛と瀬戸内海の歴史
- I. 平清盛にまつわる広島の記事

I. 平清盛と厳島神社の建築

I. 平清盛とその生涯

各々スピーカーは、自分の足で自主的に調査し、この独自性のあるプログラムの中で可能性を引き上げる楽しさを体験できたと、その後も、もっとより深く掘り下げることに興味を持ち、もう一度、プログラムに入れて欲しいと要望も出ています。

今後の課題として

- ・相手が話しやすくなるように聴く。
- ・対話につながる質問のし方の能力アップをはかりたいと考えております。時代の話題にさきがけたことが、興味を持た一因かと思っています。



プログラム委員会
会合風景

パネルディスカッション

カウンスル No.5 城北クラブ 第一副会長 豊川 三千代

3月特別例会プログラムとしましてパネルディスカッションを行います。テーマは2011年の漢字「絆」と致しました。

他カウンスル、他クラブの数名の方々にパネル・メンバーとして参加していただきます。

進め方

- 1) モデレーターが真ん中でパネル・メンバーは、聴衆にもお互いにも顔の見える様に座ります。
- 2) モデレーターの紹介。モデレーターによるテーマ、論点、及び手順の説明をします。
- 3) パネル・メンバーの紹介（名前だけでなくその人に関する簡単な紹介をします）
- 4) パネル・メンバーによるテーマに関しての各自の見解の発表を数分間します。（略式であるので、座ったまま明確、明瞭に発言し、呼びかけは必要なし）

- 5) モデレーターはそれを要約し、その中から問題点を浮き彫りにし、討議を発展させていく。
- 6) パネル・メンバーは自由に意見交換を行うが、同じ意見しか出ない場合には、モデレーターは新しい局面へと討論が展開していくように考慮する。
- 7) 討論の纏め（内容、結論を要約し報告する）
この後聴衆とパネル・メンバーによるフォーラムを行っても良い。

注意点

パネル・メンバーを選ぶ時、全員討議のモデルを行うのであるので、全員の意見、立場を十分に代表する人達を選ばなければいけないと思っています。全く同じ見解であってはパネルディスカッションの意義が失われるますので気をつけなければいけないと思っています。

朗 読 劇

カウンスル No.6 琵琶湖クラブ 第一副会長 園 仁美

琵琶湖クラブでは、5月例会のプログラムに、井上ひさし「笑劇全集」より朗読劇を行います。これは井上ひさしさんがてんぷくトリオ（三波伸介・戸塚陸夫・伊東四朗）のために書きつづけた脚本集です。この笑いとテンポをどこまで表現できるか。どれだけ役になりきれれるのか。これまでのITCで学んできた経験を活かせるチャンスでもあります。

プログラムの進行としましては、ひとつのグループが3～4人で朗読劇し、同じ内容のものをもうひとつのグループで朗読劇します。そしてフロアから

それぞれの違いや改善点などを評価していただきます。

ここはこうした方が良い。ああした方が良い。という意見を聞いてもう一度最後に朗読し直してみる。そうすることによって、どのような効果が表れるのか、1回目と2回目の表現にどのような変化がみられるのか。みんなで楽しくも真剣に「笑劇」の朗読劇をしたいと思っています。

琵琶湖や比叡の山々の大パノラマとともに、朗読劇をご一緒に楽しみませんか？



プログラム参考シナリオ「井上ひさし笑劇全集」

百合田先生の哲学入門

カウンスル No.7 松江クラブ 溝口 さち子

松江クラブの12月例会は〈クラブ間交流プログラム 島根大学教育学部 百合田真樹人准教授の講演『未来を拓く哲学：考える生き方とかかわり方』〉でした。プログラムリーダーを務めましたので当日の様様をご紹介します。

会場は他クラブより17名、クラブゲスト15名のお客様に松江クラブ16名を加え華やいだ活気のある雰囲気となりました。

講師の百合田先生は、40歳、米国で教育をうけ、教壇にも立っておられたということで、平明な言葉で身近な問題を例に〈哲学とはなにか〉を語って下さいました。

哲学って古臭くて堅そう、というイメージがくつがえされたあっという間の60分でした。

「あなたが子供と同じようにわくわくと胸を躍らせて世界を見回したのはいつでしたか？」という問いから始まり、「私たちは年をとって、世界に慣れるにしたがって、驚きや感動を失っていくのです。」「私たちの周りにはまだ解決されていない問題が山のようにあります。一つ考えてみましょう。」例として若者の晩婚化を取り上げ、男性側、女性側

の問題、結婚の意味、日本の将来に及ぼす影響、と様々な視点から考察し問題の考え方を示されました。

「考えるということは常識や立場や分別といった我々の視野を狭くしていた枠を取り払ってわくわくとした好奇心と自由な心で問題に向かうこと。それが哲学をすることなのです。」

我々一人一人が考える力を持つこと、別の言葉でいえば、小さな哲学者になることが社会を変えていくことになるという先生のメッセージはとても共感できるものでした。



会員の感想

- ・目からうろこが落ちた感じ。考え、討論することを実行したい。
- ・先生の生き生きとした話しぶりに引き込まれた。哲学って面白いかも。
- ・内容が豊富過ぎて、60分では足りなかった。もっと聴きたかった。

「パーラメンタリーディベート」

カウンスル No.8 東京クラブ 山内 昌子

「パーラメンタリーディベート」は、11月に東京クラブで初めて取り上げたプログラムです。「論題」は始まる15分前に発表。それからディベーターは作戦を練って意見を戦わせるという、事前準備の無いディベートです。



「パーラメンタリーディベート」は、イギリスの議会（Parliament）をモデルとして生まれた即席ディベートで、専門知識、証拠資料は要求されず、一般常識の範囲内で議論します。議会がモデルなので、賛成側は与党政府（首相、与党議員）、反対側は野党（野党代表、野党議員）と呼ばれ、評価は、議論の内容（Matter）だけでなく、マナー（Manner）が重要視されます。

ITCの新しいマスターマニュアル第10章ディベート10.「米国式パーラメンタリー形式ディベート」と、一般に学校などで行われているやり方等を参考にし、東京クラブ方式で行いました。ディベーターは与党・野党各2名、審査員は、プログラムリーダー、

議長、タイマーを除く聴衆全員です。

論題「電車・バスの優先席指定を廃止すべきである」は、ビジネス終了後に発表し、昼休みに、くじを引いて、与党と野党を決め、それぞれに食事をしながら作戦を練りました。ディベーターにとっては、ゆっくりお食事もできず過酷な時間でした。論題「電車・バスの優先席」は、比較的身近な問題だったせいか、それぞれの体験等から白熱した議論となり、緊張しながらも、ユーモアのある楽しいディベート論争となりました。結果は、聴衆の審査員13名中、5対6で野党側勝利でした。

即席スピーチは、事前準備の負担が無い為、取り組みやすいという利点がありますが、資料なしでディベートできる内容は限られます。また、内容について考える時間が少ないため、スピーチの持ち時間を有効に活用しきれず、時間が余ってしまうという課題もあります。今回は、論題への理解を深める為、急遽資料を用意し、論題発表後ディベーターに配布しました。当日の資料配布、聴衆の参加、手順等には更に工夫が必要ですが、是非もう一度チャレンジしたいプログラムです。

東日本大震災 その後②

盛岡クラブ 平野 ユキ子

私は震災当日、東京にいて新幹線が不通になったことにより帰郷難民になってしまいました。

3日間、東京に足止めされたのち秋田経由で盛岡に戻り、翌日から緊急車両を手配して被災地へ赴き支援活動を始めました……物資の提供、メンタルケアなど時宜に応じて……こうした支援の詳細については、既に日本リージョンのウェブに掲載して戴きました。感謝です。(報告書1.~7.)

この中の最新の報告書で、「スペシャルオリンピックス日本(S.O.N.)岩手」へのこれからの支援の方向を掲載しました。これをご報告することは支援金(10万円)を戴いたI.T.Cへの報告義務とも重なりますので、この件につき今回は報告させていただきます。※S.O.N.について詳しくはS.O.N.公式H.P.をご覧ください。(http:www//son.or.jp)

8月21日(日)、皆さまのご支援のお蔭で、オリンピックメダリストの有森祐子S.O.N.理事長を迎え、「がんばれSO!スポーツキャラバン in 岩手」という復興支援スポーツイベントを堂々開催いたしました。

このイベント実施については岩手県の全面的協力が得られ、県営武道館という立派な施設を減免でお借り出来ましたし、当日は知事代理として副知事が駆けつけて下さり、開会の御挨拶と激励を戴きました。参加者は200名を越え、マスコミはNHKを始め、テレビ・新聞、全社取材に来てくださり、大盛会の中、本当に久しぶりでアスリート(S.O.は知的障害者をこう呼びます)と、そのファミリーの心からの笑顔に接することが出来ました。

沿岸部被災地では、スポーツ施設も全て流されてしまいスポーツが全く出来ない状態です。周りが瓦礫の山で、そんな光景を毎日眺めていると、いくら頑張ろうと思っても心が折れてしまいます……。そんな被災者の声

を聞いて、沿岸部までバスを出してアスリートとそのファミリーを内陸部の盛岡(普通の街並)まで連れて来る計画を立てました。震災のことを忘れてこの一日は思い切りスポーツに打ち込んで元気になって貰いたい、そんな思いで企画したのです。

イベントは、大成功!! 上記の方々の協力のほかS.O.N.の全面的協力もあって、みんなが盛岡に集い、楽しくスポーツに興じたほか、有森祐子さんとお弁当を食べながらの団欒のひとつ時をも過ごすことが出来ました。復興に向けて、みんなが「勇気と、元気と、そして『希望』をいっぱい持って」帰ることが出来たのです。

どんな時も『希望』を失くさない事が大切です。

ギリシャ神話の『パンドラの箱』…。それは、決して開けてはならない、この世のあらゆる厄災の詰まった箱を、パンドラは好奇心のために開けてしまい、この世は災と苦しみに満ちた世界となってしまったというお話です。パンドラが怖ろしさで絶望に震えている時、最後に箱の隅から『希望』が出てきて、後悔に苦しむパンドラの心と、その後のこの世の人類の救いとなりました。。。

人はどんな苦しい時も希望を失くさなければ前に進んでいけるものです。決して起きてはならない大災害…東日本大震災… ITC他の皆さんから戴いた支援金は、パンドラの箱の隅から出てきた『希望』になるように大切にに使わせて頂きます。本当に暖かいご支援を有り難うございます。改めてこころから御礼申し上げます。



ホームページへのアクセス

<http://www.itcjr.jp/> クリック!



①会員ログイン クリック

ユーザーID：会員番号

パスワード：会員の姓のローマ字小文字（例 nihon） →

② ITC リンク集 クリック

ITCリンク集

ITC国際へのリンク

ITC（英語）

ITC世界大会

ITC日本リージョン大会

カウンスルNo.1～カウンスルNo.8へのリンク

ITC国際へのリンクの内 [ITC（英語）](#) クリック

左上言語 を選択 クリック

上のバーのログインする クリック

例) メンバーリソース クリック

→ →

→

画面下に出た中の をクリック 検索の結果

2013年世界大会 の画面開く

第1号 訂正

P7 右下段 鳥取クラブ30周年記念例会にて読まれた → 詠まれた

P12 小管あけみ → 小菅あけみ

P18 今期のテーマ：結いのITC → 結のITC

P20 会合案内 第1回 2011年10月31日(金)13:00～14:00 → 10月31日(月)13:00～16:00

所属クラブ 東京 第3金曜日 → 第3火曜日

彩玉 第3木曜日 → 第3水曜日



新木昌子様を偲ぶ

カウンスル No.1 名古屋クラブ 盛田 純子

はからずも新木昌子様と同じ頃 ITC に入会して、約50年を共にした私にとって、この度のご逝去は本当に悲しく寂しいことでございます。

ITC 日本リージョンが今の姿に発展したことは、新木様なしには考えられません。3つのクラブができてカウンスル No.1 を設立 (1973年)、クラブ数が15になり、カウンスルを3つにしてその上部組織として日本リージョンが設立されたこと (1982年)、それについては国際役員のご指導があったにせよ、新木様の熱意なしにはできなかったことでしょう。1984年～85年度、日本人として初めての国際役員 (Div.VI 副会長) を務められたこと、煩雑になった事務処理の為日本リージョン事務局の開設を推進して下さったこと、そして忘れてはならないことは、教育マニュアル (現在のマスターマニュアルの前身) や ITC 議事法マニュアルその他の教育資料翻訳に携わって下さったことなどなどの大きな貢献を述べるには紙面が足りませんが、それらは日本リージョンの歴史を読んでいただくこととして、私は個人的に感じたことを申し上げたいと思います。

アメリカで生まれた合理的なはっきりした考え方と同時に、日本人らしい細やかさと協調性があり、決して我を通すことなく反対意見に対して話し合いをするという態度で、日米のよいところを併せ持っておられました。ITC の理念をそのまま体現していらしたいわば ITC の優等生でした。そして心の広い方で、英語に堪能で私達が今のように簡単に手に入らない色々な本部資料を読んで得られた知識を惜しみなく私達に分け与えてくださいました。例えば動議を出す時の8つのステップなどプリントして下さり、それを他クラブでワークショップをするため、新幹線の中で相談しながら行ったことなどなつかしい思い出となりました。



第26回ITC日本リージョン年次大会 晩餐会
2008年7月7日 リーガロイヤルホテル大阪

ITC そのものであった新木様がいらっしゃらなくなった今、私達は ITC の原点をもう一度振り返り同時に時代の流れを把握しながら、日本リージョンを発展させ、新木様の思いを継いでいくことが一番の恩返しであり、み霊をお慰めすることになると存じます。会員皆様と共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日本リージョン初代会長であり、今日の日本リージョンの礎とされました。
また ITC に絶大な理解を示し発展に寄与され、国内外にも幅広く貢献し、ご尽力下さいました。
ここに故人の功績を偲び心からご冥福をお祈りいたします。

Sue Martin AC

I am writing on behalf of the International Board to extend the Board's deepest sympathy to Japan Region Board and members of Japan Region on the passing of Masako Araki.
It is very sad to lose such a lovely lady who contributed so much to ITC over so many years.
Masako touched many people's lives not only in Japan, but also around the world.
Masako is remembered with much fondness and her passing is a great loss which is deeply felt.

Margaret Sutherland, Fellow of ITC Immediate Past International President.

While I was away on holiday I received the sad news about Masako-san's passing. I send to you Madam President and to the members of Japan Region my heartfelt sympathy at the loss of this wonderful member. Masako always made me feel welcome and special when I met with her on my visits to Japan and I feel very sad that she will no longer be with us.
The consolation that we have is that she had a good life and touched the hearts of so many people.

Mary Marshall International President 2007-2009

I was so saddened to hear of the passing of Masako Araki. She will be mourned not only by the Japan Region members but by members worldwide. Her dedication to our organisation cannot be surpassed. I would appreciate it if you could pass on my condolences to her family and club members.

編集後記



H.T



Y.F



A.S



E.O

- 一歩前進 二歩後退にならないよう心掛けている
チームワークの良さに感謝！
- 今年は、いろんな変化と節目の年になりそうな予感を感じています。
編集に関わったことがそのきっかけになったかも。
- お正月休みが終わり、仕事始めでバタバタ。編集の仕事の要領も得ず、
ただただ先輩の仕事の速さに脱帽。今年目標…〇〇さん、結婚です
か！…ですって。それも頑張ります。
- チームワークで仕事をする楽しさを実感。目標に向かって心が一つにな
る心地良さ。
明日への希望を持って私たちは何でも乗り越えられる！



ITC Pledge

ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナルトレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2011—2012

ITC 日本リージョン声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョンの使命は、ITC の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.